

「意思疎通支援部会」について（案）

1. 目的

特に専門性の高い意思疎通支援である「盲ろう者通訳・介助」、「手話通訳」、「要約筆記」などを担う者の養成・派遣等のあり方について審議する。

2. メンバー

○部会

所属・職名等	氏名	選定理由
神戸大学大学院 教授【部会長】	河崎 佳子	障がい者福祉に係る学識者
(一財)大阪府視覚障害者福祉協会 副会長	宮林 幸子	視覚障がい者団体 副会長
四天王寺大学 名誉教授	愼 英弘	障がい者福祉に係る学識者
(社福)大阪手をつなぐ育成会 常務理事	小尾 隆一	知的・発達障がい者団体 理事
(公社)大阪聴力障害者協会 事務局長	長宗 政男	聴覚障がい者団体 事務局長

3. 主な検討の方向性

○盲ろう者通訳・介助

- ・平成 30 年度からの養成研修実施方法の見直しに対する評価（現場実習など） など

○手話通訳

- ・手話通訳者の派遣及び養成のあり方 など

○要約筆記・新たな意思疎通支援

- ・要約筆記者の派遣及び養成のあり方 など
- ・失語症者等への支援のあり方 など

4. スケジュール（現時点案）

平成 30 年 6 月		平成 31 年 2 月
○部会 検討方針・進め方の確認	○WG（それぞれ分かれて検討）各 1～2 回程度 ①盲ろう者通訳・介助 ②手話通訳 ③要約筆記・新たな意思疎通支援 など	○部会 H30 年度における 検討結果のとりまとめ等

○大阪府障害者施策推進協議会要綱（案）

（趣旨）

第1条 この要綱は、大阪府障害者施策推進協議会条例（昭和46年大阪府条例第3号）（以下「条例」という。）第10条の規定に基づき、大阪府障害者施策推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

（部会）

第2条 条例第6条の規定に基づき、協議会に次の表の左欄に掲げる部会を設置し、それぞれ同表の右欄に定める事項について、調査審議する。

部会	調査審議する事項
<u>意思疎通支援部会</u>	<u>特に専門性の高い意思疎通を担う者の養成・派遣等のあり方の審議に関する事務</u>
手話言語条例評価部会	手話言語条例に基づく施策への助言や評価等に関する事務
アートを活かした障がい者の就労支援事業企画部会	アートを活かした障がい者の就労支援等に関する事務
障がい者スポーツ普及促進部会	障がい者スポーツの普及等に関する事務
社会福祉施設等施設整備費補助金等審査部会	社会福祉施設等施設整備費補助金等の国庫補助対象施設等にかかる選定審査に関する事務
身体障がい者補助犬部会	身体障がい者補助犬の使用機会の提供を行う者の選考等に関する事務

（会議録）

第3条 会長又は部会長は、それぞれ会議録を調製し、会議の日時及び場所、出席委員の氏名、議事の要領その他必要と認める事項を記載しなければならない。

（庶務）

第4条 協議会及び部会の庶務は、福祉部において行う。

（委任）

第5条 この要綱に定めるもののほか、協議会又は部会の運営に関し必要な事項は、それぞれ会長又は部会長が定める。

附則

この要綱は、平成25年11月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成28年10月14日から施行する。

附則

この要綱は、平成29年5月25日から施行する。

附則

この要綱は、平成30年3月〇日から施行する。